

みぶ町政だより

2月号

昭和47年2月24日発行

発行所 栃木県壬生町役場 (毎月24日発行)

昭和34年9月30日第三種郵便物認可 一部 9円10銭



北小林チームが優勝

— 第2回新春駅伝大会 —

壬生町青年団協議会主催の第2回新春駅伝競争は、1月30日、午前10時中央公民館をスタートしました。

レースは、青年団支部とオープン参加の計17チームで争われ、中央公民館を出発して国谷—安塚—上田—中泉—羽生田—稲葉—中央公民館の7区間26.4キロのコースで健脚を競い合った。

この日は、強風の中のレースでしたが、各選手たちは日頃のトレーニングの成果を見せ、また、沿道の人たちの声援もあって、よく健闘、大接戦の末、国谷4H・Bチームがトップでテープを切った。

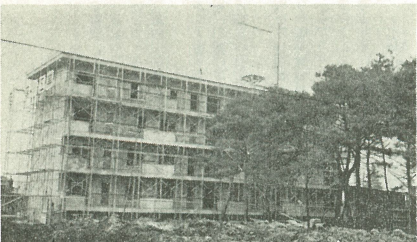
成績は、青年団が北小林チーム、また、オープンでは国谷4H・Bチームがそれぞれ優勝しました。

順位は、①北小林②助谷③中泉、また、オープンでは、①国谷4H・B②石橋町青年団③バンダイ工業の順でした。

なお、総合1位の国谷4Hチームには、下野新聞社からメダルが贈られました。

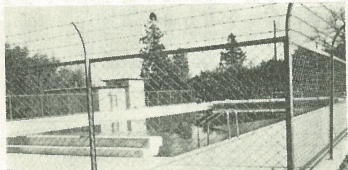
今月の人口

総人口	26,645
男	13,223
女	13,422
世帯数	5,998



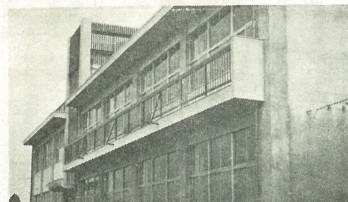
町営住宅がほぼ完成

町営住宅は、昭和46年度から三カ年計画で建設を実施することになりました。まず、初年度として46年度は、鉄筋コンクリート造り4階建1棟が完成しました。4月から16世帯の人たちが入居できることとなります。



東小にプールが完成

東小の校庭の拡張に伴い、プール建設を始め、7月24日落成式を行なった。総工費 700万円。



南犬飼中の校舎増築成る

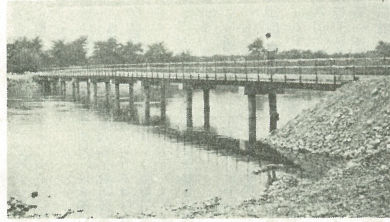
昭和45年度に校舎増築一階が完成。その後46年度の事業で2階6教室が3月に完成しました。

昭和四十六年も早くも過ぎ、昭和四十七年という新しい年を迎えました。
さて、昭和四十六年をふりかえつてみますと、
まず、一月三十一日の知事選挙をはじめ、四月の県議選、六月の参議選、そして十月に町議選と四つの選挙が行なわれ、まさに選挙の年でした。
また、話題となつている独協医科大学は、四月の開校を自指して、ほぼ完成し、文部省の認可を待つばかりとなりました。



町議会議員選挙行なう

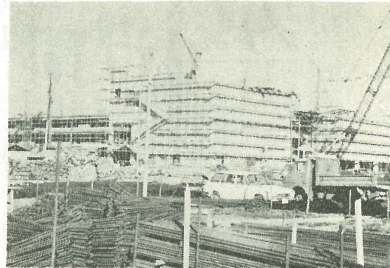
10月3日町民の代表となる町議会議員選挙が17投票所で一斉に行なわれた。投票率は92.77%。
開票の結果30人の新議員さんがここに誕生しました。



通学橋ができる

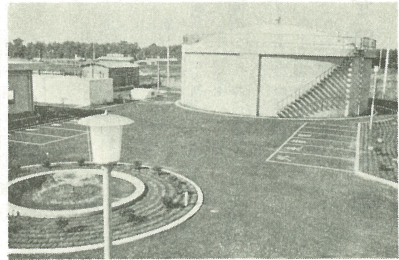
堀切堰の上流に稲葉と羽生田を結ぶ橋がりっぱにできましたが、残念にも8月31日の台風によって流失してしまいました。なお、3月末までに復旧する予定です。

昭和46年のあれこれ



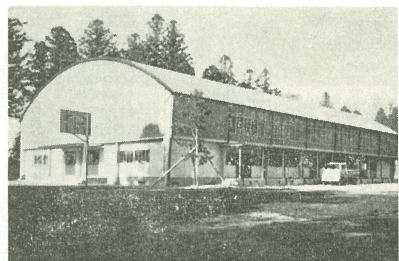
独協大学がほぼ完成

昨年の夏から建設を着手した独協大学は、現在に至っては、校舎の鉄筋コンクリート造り4階がほぼ完成しており、4月の開校を目指して、目下総仕上げを急いでいます。後は文部省の認可を待つばかりになりました。



水道配水場が完成

北部配水場は、総工費約1億円を投じて、45年、46年の二カ年継続事業として建設し、昨年9月20日に竣工式を行ないました。
これによって独協大学を含む、北部地区の給水は充分。



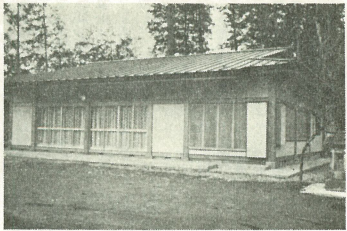
壬生中に体育館が落成

昨年の8月から工事を着手した壬生中の体育館は、りっぱに完成し、1月18日にその落成式を迎えた。
館内には、すべてのスポーツ設備ができ、雨天でも運動が出来ると生徒たちは大喜び。
総工費 269 万円。総面積 861 平方メートル。

- ### 昭和46年の主な出来事
- 1月
 - ・新年祝賀会中央公民館で行なう。
 - ・第1回新春駅伝競走開く。
 - ・成人者 575 人を迎え、中央公民館で祝う。
 - ・栃木県知事選挙が行なわれた。
 - 2月
 - ・町政懇談会各地区で開催。
 - ・町議会議長に細井金平氏が就任。
 - ・稲葉中学校に体育館が落成。
 - ・昭和46年度の予算きまる。
 - 3月
 - ・町議会議長に鈴木武雄氏が就任。
 - ・南犬飼中の校舎増築ができる。
 - ・独協医科大学の起工式行なう。
 - 4月
 - ・栃木県議会議員選挙行なう。
 - （細井金平氏が当選）
 - ・消防団長に鯉沼三典氏を任命。
 - ・「交通安全母の会」が誕生。
 - ・23名の自治功労者を表彰。
 - 5月
 - ・児童公園をオープン。
 - ・藤井の円照寺で季節保育所を開設。
 - 6月
 - ・参議院議員選挙行なう。
 - 7月
 - ・羽生田通学橋が完成。
 - ・東小学校にプールが完成。
 - 8月
 - ・夏季消防点検行なう。
 - ・消防組合壬生分署の庁舎が落成。
 - ・台風23号で通学橋が流失。
 - 9月
 - ・「敬老の日」1,700 人の老人を迎え、長寿を祝う。
 - ・水道北部配水場が完成。
 - ・住民実態調査一斉に行なう。
 - 10月
 - ・町議会議員選挙行ない、30名の新議員が誕生。
 - 11月
 - ・独協医科大学文部省で現地視察。
 - ・町民歩け付け大会三地区で開催。
 - ・第5回産業祭開く。
 - 12月
 - ・消防通常点検行なう。
 - ・町営住宅、壬生中体育館が完成。

陸砂利採取の契約は慎重に

農地や山林、原野などを所有している地主の皆さん、あなたの大切な財産は安全に守られていますか、また、自分の利益だけにこだわられた土地の利用によって、近所の人々や地域社会に迷惑をかけるようなことはありませんか、急速な社会開発の進展によって砂利の需要は年々増加していますが、県では陸砂利採取について災害や事故を防止するため給付金規程を設けて公共の安全確保に努めてきています。
しかし、なかには不心得な業者もいて砂利を掘ったまま放置したり、トンブ公書で周囲の人々に大変な迷惑を与えたり、また、防護対策を講じないため砂利穴に落ちて死亡するなどの悲惨な事故が全国で起きています。
このような不始末の絶滅を図るため、県としては業者に対し自主的に規制を守り健全な企業として進むよう指導するとともに、県の取扱規制も強化して、皆さんの財産や社会の秩序を守るよう努めておられます。
これが軌道に乗るかどうかは地主の方々は勿論関係者の深い理解と協力がなければ何の役にもたしません。
なお、あなたの土地に契約などの話がありましたら、相手の業者をよく確認し、一人で契約するようなことをせず、必ず役場または県工業課まで、ぜひご相談ください。



鹿島 公民館ができる

鹿島自治会では、昨年六月から公民館の建設をはじめ、十一月十九日に、りっぱに完成しました。

この公民館は、総面積一六五平方メートル（五〇坪）で、板ノ間、八畳二間、控室六畳台所八畳程が完備されており、そのほか、管理人室として六畳二間が用意されています。

公民館建設にあたっては、鹿島部落八戸が同所の樹木を材料に利用したり、寄附金をことによってみんなが協力し、りま。

鹿島自治会では、昨年六月から公民館の建設をはじめ、十一月十九日に、りっぱに完成しました。

この公民館は、総面積一六五平方メートル（五〇坪）で、板ノ間、八畳二間、控室六畳台所八畳程が完備されており、そのほか、管理人室として六畳二間が用意されています。

公民館建設にあたっては、鹿島部落八戸が同所の樹木を材料に利用したり、寄附金をことによってみんなが協力し、りま。

鹿島自治会では、昨年六月から公民館の建設をはじめ、十一月十九日に、りっぱに完成しました。

この公民館は、総面積一六五平方メートル（五〇坪）で、板ノ間、八畳二間、控室六畳台所八畳程が完備されており、そのほか、管理人室として六畳二間が用意されています。

公民館建設にあたっては、鹿島部落八戸が同所の樹木を材料に利用したり、寄附金をことによってみんなが協力し、りま。

鹿島自治会では、昨年六月から公民館の建設をはじめ、十一月十九日に、りっぱに完成しました。

この公民館は、総面積一六五平方メートル（五〇坪）で、板ノ間、八畳二間、控室六畳台所八畳程が完備されており、そのほか、管理人室として六畳二間が用意されています。

公民館建設にあたっては、鹿島部落八戸が同所の樹木を材料に利用したり、寄附金をことによってみんなが協力し、りま。

青色申告の申請を

所得税には青色申告の制度あります。

青色申告制度とは、毎日の取引を帳簿につけてこの帳簿に基いて正確に所得税額を申告する人には、所得の計算など不利な取扱いをしないう制度です。

青色申告は、税金の面で有利であるばかりでなく、記帳することによって経費の内容や資金の状況などもよくわかり、事業の発展にも役立つことが一般に知られ、青色申告をする人は年々多くなっています。

〔青色専従者給与…〕青色申告者と生計を同じくしている家族でも、もっぱら事業に従事している人に支払ふ給与は必要最低限にならなければなりません。

〔光熱金などの貸倒れによる損失に備へ、年末の残掛金の合計額を五・五％までの金額を必要経費とすること〕

〔商品の値下りによる損失に備へ、年末たな卸高の四％までの金額を必要経費とすること〕

〔青色申告の手続は、その年の五月十五日（人事業）を始めた人は、事業を始めた日から一月以内に、青色申告承認申請書と税務署に出してください。また、青色専従者給与を支払う給与の額などを記載した「青色専従者給与に関する届出書」もいっしょに出してください。申請書や届出書の用紙は税務署にあります。〔届出書〕

交通パトカーがスタート



交通戦争と云われている今日、一件でも交通事故をなくそう、このほど壬生町交通安全指導車が設置されました。

この車は、東下台の橋本モータース（橋本殿蔵社長）が、壬生町交通安全委員会に寄附され、同協会が町に贈られたもので、写真でわかれるように、コナライトパトカーの四十三年型を白と黒の二色塗りで、実際のパトカーと同じようにしています。

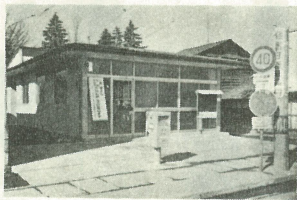
町では、これを交通安全指導員や警官が乗り、交通安全のために町全域を巡回しています。

このほか、交通事故の際の交通整理にかけつけるために、また、催し物などの交通指導のために大いに活躍しています。

『都市計画税条例』を制定

都市計画税は、市町村が都市計画法により行なう都市計画事業または、土地の画整理事業により行なう土地区画整理事業のために必要に費用を計上するために課税するもので、市町村において、新しい都市計画法の施行により、都市計画区域内にある土地および家屋に対してその価格を課税標として、〇・一％以内の税率で、所有者に課税することができ、目的税であります。

壬生町においては、新しい都市計画法の施行により、都市計画区域内に区分して、市街化区域と市街化調整区域に、昭和四十五年十月一日、いわゆる強引区が、決定されましたが、市街化区域の全面的な市街化を図るために、計課税を定める必要に自主財源



栄町郵便局が新設

栄町郵便局（局長佐藤忠男）では、昨年十月から北隣りに新しく建設を始め、去る一月十日に

課税されるのは、市街化区域内にある土地および家屋、おまじりです。

課税標準、納税義務者、納期、賦課徴収等は、ほとんど固定資産税と同じで、納税通知書も固定資産税とあわせて発行になります。

経済講演会の開催

昨年後半からの景気停滞に加え、「ワゴンブーム」により閉塞的の動向などによって、円の大巾切り上げから経済界に大きな波紋を来たしています。

これが企業を始め、製造業に及ぼす影響が憂慮されています。このような不況ムード下における購買力の低下により、商家にも少なからず影響を受けるものと考

えられたため、役場および商工会共催で、最近の経済動向・見通しをめぐらした経済講演会を開催します。是非ご聴講くださるようお願いいたします。

★日時 三月六日（月）二時から
★場所 壬生町中央公民館
★講師 日給新聞論議委員 坂口 昭先生
※誰れでも入場できます。

壬生町のスローガン決まる

町の環境などのイメージにマッチした創造性豊かな郷土建設のためにふさわしいスローガンのこのほど決まりました。

昨年十一月から募集して、おりました壬生町のスローガンは、一月三十一日に締切ったところ、三十五点の応募がありました。

二月十日、この審査会が開かれその結果次の作品が入選となった。

◆一席 鼓動を
◆二席 鼓動を
◆三席 鼓動を

おらが壬生町、おらが手で、皆んなの努力で、新井 隆江、お、町は、今後これらのスローガンを目標に町発展のために推進して行きます。

ホンコツ車を贈る

第二保育所

この建物は、もと壬生郵便局と称し、電話の交換や電報なども取り扱っていた関係で、窓口が狭かったため、このほど、窓口を重視した建物として、窓口は勿論のこと、お客さんサービスが十分できるように設備された、り。はな建物が出来たわけ。

なお、壬生郵便局は、昭和四十三年九月に国谷駅前（泉道沿い）に開局しました。



第保育所へ、このほど古い自働車が贈られました。

寄附された方は、鈴木輪業（鈴木武雄社長）で、子どもたちを乗せたホンコツ車

時代とともに遊び道具も高級になり、子どもたちは実際の自動車とあってハンドルを回すなど、ドライバ気分が楽しそうです。

これらの乗り降りにも慣れさせて、これによって子どもたちは大喜びで毎日楽しく遊んでいます。

昭和四十七年度の固定資産課税台帳の縦覧

◆場 所 役場税課

◆縦覧期間 三月一日から三月二十日まで

◆時間 勤務時間内に限る

お知らせ



職員募集

役場では、次の要領で運転手および学校公仕を募集します。

- ①運転手 年齢五十歳以下で大型免許を有する者
②公仕 年齢五十五歳以下でなるべく任意の者
▽採用人員 運転手、公仕とも一名
▽手続 履歴書、住民票抄本、健康診断書を持参のうえ、役場総務課まで

心配ごと相談所

町社会福祉協議会では、みなさんの悩みを解消するため、心配ごと相談所を開設しています。
どうして解決できないか判断に苦しみ、かたがって近所の人親せきにも相談しにくいこと、また家中で解決できないことがあります。
このような場合、みなさんの相談相手となって問題を解決する方向づけをしたり、解決に努力して

休診のお知らせ

Table with columns for date, time, and doctor name. Includes dates like 三月五日 (壬生(四時まで) 南大創元前中) and 三月九日 (陣内 佐藤 渡辺).

心配ごと相談所

くださるのが「心配ごと相談所」です。
そして相談内容は秘密となります。
いまずのどんなことでも結構です。
一人で心配に悩むことはありません。お気軽にご相談ください。
三月の相談日と相談費さんは次のとおりです。(敬称略)

- 第一火曜日 七日 役場日本間 小島啓、田中長一郎、本野内 彦市
第二火曜日 十四日 稲葉公民館 田中長一郎、本野内彦市
第三火曜日 二十一日 役場日本間 篠原ハマ、篠原マヤ
第四火曜日 二十八日 南大創元公民館 大友重太郎、篠原善一郎

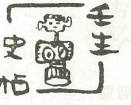
廃犬引き取り日

廃犬は、はなさないで廃犬引き取り日に出してください。

善意銀行

城東町の福田シズさんは、町へ金二〇〇円を寄付されました。
福田さんは、身障者の身でありながら、石けんを販売し、その利益の一部を身障者の方のために付されたもので、
町では、これを善意銀行へ繰り入れ、有効に使わせていただくことにしました。

羽生田小学校昭和三十八年卒業生クラス会では、金三三五円を善意銀行へ寄付されました。



名所巡り

朝比奈三郎義秀の墓(続)

北条氏の陰謀により次から次へと滅亡の道を歩む人達の姿を目の前に見て、和田義盛は、次の番を自覚せずには居られなかった。
建保元年一月泉親朝の陰謀が(頼家の子手を担いで將軍にす)発覚し、一味の者多数が逮捕された。
その中に幸か不幸か、和田義盛の子供や甥の胤長等が含まれていた。
上総にいた義盛は驚をきまけて大急ぎで鎌倉に馳付け、直ちに幕府に語り、自から自分が功績のあったことを述べて三子の許しを乞うと案外アツサリまき聞け
になつて三子の罪は許された。
その次日宗族九十八人を率いて大江原元へ頼んで、甥の胤長の許しを頼ると昨日とはうって変り、目前で胤長に繩を掛けて東北は流して終い、所領をすべて没収した。
彼らに与えられたが、義盛には与えられず義時の手に入り、義時は行親忠家にこれを分割して与えていた。
このため義盛大に怒つて北条氏打倒を決意し、五月津に兵を率けて義時區元の家に押し寄せた。
内俱の上この事を知る、兵